

## 献身・謙遜・賜物/奉仕

ローマ書12章1-8節

2014,10,19 HKJCF

## 概観

序)①パウロはローマ書1-11章で徹底的にキリストの恵みを語り②12章からは聖霊によるキリスト者の実際生活の勧めをする③謙遜が実際生活のスタートである

- 1、献身
- 2、謙遜
- 3、賜物/奉仕
- 4、適用と祈り

## I 献身

1、恵みから恵みへ

V1 神の憐みによって V3 恵みによって

V6 恵みに従って

2、献身・礼拝・自己の変革

→み心を知り、み心に従うため

3、献身がキリスト者の実際生活の出発

⇒私の人生はキリストのものであり、人のものでも、組織のものでも、自分自身のものでもない  
ローマ14:7-9

## II 謙遜

1、私はキリストの肢体である地域教会の交わりの中で活かされている

2、私が必要としない人はいないし、私を必要としない人もいない

3、私は教会のメンバーを活かすために活かされている

⇒私はキリストの肢体である地域教会の交わりなくしては真にバランスのとれた成長は不可能である  
ヨハネ13:34-35

## III 賜物/奉仕

1、すべてのキリスト者には神様と人々に仕えるために賜物が貸与されている

2、賜物は神様に起源があり、地域教会に信託され、キリスト者に貸与されている

3、賜物を思う存分用いさせていただき、奉仕させていただくために主の恵みに基づく、献身と謙遜が必要である

⇒賜物は私のものではなく仕えるためのもの 私物化したり、比較する必要はない

I サムエル16:12-19,23

## IV 適用と祈り

1、「信仰が成長すると献身を通して人格の実を結び、人格が成長すると賜物を通して奉仕の実を結ぶ」

2、主よ、聖霊により献身と人格の実を結ばせて下さい それは私があなたから貸与された賜物を地域教会と神の国の前進のために豊かに用いるためです 私の人生は私のものではなく主のものだからです 救い主、イエス・キリストのみ名によって祈ります  
アーメン